



連携医療機関のご紹介

脳神経センター阿賀野病院 院長 近藤 浩 先生

当院は、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症など、さまざまな神経難病を主な診療対象として、専門的医療を提供しています。来年11月で開院50周年を迎えますが、その歴史とともに施設の老朽化が進み、2016年より改修工事を順次進めています。

病棟の改修は終了し、コロナ禍で着工が遅れましたが、現在は来夏までの予定で、管理棟の新築、外来・放射線科・検査科部分の改修工事を行っています。工事に伴いご不便をおかけしていますが、これからもあがの市民病院との連携の下、市民の皆様によりよい医療を提供していきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



あがの市民病院 スワンだより



医療安全について

当院では病院安全管理委員会、医療安全管理対策委員会、医療安全推進委員会、院内感染対策委員会、感染制御チーム（ICT）などの医療安全に関する委員会があります。

その目的は、院内の安全管理の検討、医療事故防止に向け医療安全の管理・対策を提案、医療事故防止に向け対策を推進、感染予防に対するの検討や院内感染対策の検討です。

その活動は毎月の委員会だけでなく、全職員参加の研修会、職場ラウンドによる確認、ニュースレターの発行、などがあります。研修会については全職員が同日に参集することが難しいため、DVD視聴にて全職員が学習を行っております。

先日のICT研修会では「環境からの感染を防ごう」「消毒薬」というテーマで、医療安全推進委員会では「ブロッキングを回避して集中力を持続する実践トレーニング」というテーマで研修会が行われました。くり返し研修会を行い、日々の業務に活かせる・身につく学びの場を設けております。

介護老人保健施設 阿賀の庄 施設長 青木 賢樹 先生

介護老人保健施設「阿賀の庄」は阿賀野市中心部からは、距離にして8km程度離れた五頭山を望む丘の上にあり、入所者数は96名です。当施設はリハビリテーションを中心として、自宅復帰を目的に運営しています。

ただし、日常生活動作の支障や認知機能障害などにより、介護、医療的介入が必要な方も居られます。職員一同で、今の症状が改善して、目的に添えるように、努力しております。また自分の家に居るように楽しく安心して過ごせるように心がけています。月毎には、色々な行事、食事会などもあり、生活に潤いを取り入れております。ぜひ一度見学にいらしてください。宜しくお願いします。



環境からの感染を防ごう
令和5年8月27日(火)、28日(水) ICT研修 看護部 薬師志保子

高頻度接触面の清掃ポイント
色み込むように上から下に拭き取る
色み込むように一方に拭き取る
テーブル上の物品は最小限にして清掃しやすくする
1日1回以上清掃する
患者退院時にはベッドの枠の埃もよく拭き取る

高頻度接触面の清掃ポイント
1日1回以上清掃する
PMS 使用前後に清掃する
部署内で共有するものはよく清掃しましょう！



消毒薬適正使用のポイント

消毒薬の効果は化学反応！よって適正濃度、適正時間、適正温度が必要！
・低い濃度では無効、濃い濃度では副作用の原因、薬剤費の無駄
・消毒薬の種類や濃度により必要な時間となるため微生物と必要な接触時間を十分にとることが必要
・温度は低過ぎると効果が十分期待できない

消毒薬の効果は有機物（血液、排泄物、膿など）と界面活性剤（洗剤）により効果が低下する！
・使用前に有機物と界面活性剤を十分に除去することが必要

消毒薬の調整は必ず滅菌済みまたは乾燥済みの容器
・調整後は消毒薬の汚染防止のためすみやかに使う

アルコール以外は2種類を混合すると不活化する
保管は熱や直射日光を避ける

消毒薬とその抗菌スペクトル



器具の感染リスク分類

感染リスク	対象	管理方法	例
クリティカル器具 (高リスク)	皮膚・粘膜を透過して無菌の組織や血管に入るもの	洗浄・消毒	手術器具、注射器、検眼鏡、歯ブラシ、採血針、採尿力、カテーテル
セミクリティカル器具 (中リスク)	粘膜または損傷皮膚に接触するもの、呼吸器・性感染症に使用されるもの、体液等・糞便に汚染されたもの	洗浄・消毒 高水準消毒	消化器内視鏡、呼吸器、検尿器、吸引機、気管挿入チューブ
ノンクリティカル器具 (低リスク)	健康な皮膚に接する	洗浄・消毒 低～中水準消毒	体温計（口腔、直腸）、その他粘膜に接触された器具 聴診器、洗面台、リネン、超音波診断装置



あがの市民病院

〒959-2093
新潟県阿賀野市岡山町13-23 代表☎0250(62)2780
Eメールアドレス syomu@aganocity-hp.com
ホームページアドレス http://www.city.agano.niigata.jp

あがの市民病院



職場紹介 リハビリテーション科



訪問リハビリテーション のご紹介



退院後も引き続きリハビリテーションが必要な患者様や外来通院が困難な患者様に対して訪問看護ステーションから理学療法士、作業療法士がご自宅に訪問して、リハビリテーションを行っています。日常生活動作の自立と家庭内・社会参加の向上を図ることが大きな目的です。そして、実際の生活場面に即した能力や環境へのアプローチが出来ることが特徴です。



訪問看護ステーションには理学療法士1名、作業療法士1名が在籍しております。一般的には、理学療法士は筋力や関節可動域などの基礎的な能力の改善や立ち座り、歩行を中心とした基本動作能力の向上を目指して、作業療法士は主として応用的な動作の向上やそのための生活環境を整えることなどを行います。当ステーションではそれぞれの職種が関わることで必要な内容を各職種の視点から検討して、どちらの職種が訪問しても統一した内容で行っております。また、訪問看護ステーションから状態に合わせて看護師も訪問しますので、普段の体調に関してもご相談に乗ることが可能です。

訪問サービスの利用にあたっては主治医からの指示書が必要になります。介護保険の場合はケアプランにもサービスの利用が明記されていることが必要なので、まずケアマネジャーにご相談いただきたいと思います。また、介護保険がなくても医療保険で利用可能なため、必要時は担当の相談員や当ステーションにご連絡いただきたいと思います。

お問合せ あがの市民病院 訪問看護ステーション
代表 ☎ 0250-62-2780



院長のつぶやき

院長室

継続した「安全・安心」の医療提供のために、医療安全と院内感染対策の2大委員会・チームが、がんばってくれています。知識のみならず、日々実行・実践できるレベルになるよう期待しています。



乳がん検診 マンモグラフィーについて



乳がん検診で行われるマンモグラフィ（乳房X線撮影）は、手に触れない小さな乳がんを発見するためには非常に有用な検査です。病変を見つけやすくするために乳房を圧迫して行う検査ですので、痛みを伴う方もいらっしゃいます。そのため、乳がん検診をためらわれる方も多いと思います。圧迫による痛みを軽減するためのポイントを簡単に説明します。

- 生理前～生理中は避ける
女性ホルモンの影響により生理前から生理中は乳房が張っていることが多く、乳房を圧迫することで痛みがより強くなるのでなるべく避けたほうが良いです。
- 体の力を抜いてリラックスして受ける
体に力が入ると筋肉や乳房が固くなり、圧迫した時に痛みが生じやすくなります。深呼吸をして力を抜き、できるだけリラックスして検査に臨むことが大切です。それでも痛みが強く我慢できない場合は撮影技師に遠慮なくお知らせください。



乳がんは早期に発見し治療をすれば、ほとんどが治るがんです。定期的な乳がん検診をぜひ受けてください。また乳がん検診とともに重要なのが、自分の乳房の変化に気づくことです。日ごろからご自分の乳房に関心を持ち、変化や気になることがありましたら乳腺外科を受診してください。

五頭の里大運動会

令和5年度の五頭の里大運動会が、6月21日(水)に開催されました。諸事情で、毎年恒例の職員対抗車椅子リレーはできませんでしたが、選手宣誓、玉入れ、箱倒し、入所者・職員合同風船バレー、応援合戦を参加者全員が集中して和気あいあいと楽しむことができました。



頑張った後のちょっと高級なアイスクリームは、皆さん、とても美味しかったようで感激の言葉がたくさん聞かれました。今後も集団活動を通して今回のように皆さんの生き生きした表情を引き出せる機会を増えることを期待したいです。



職場体験



京ヶ瀬中学校2年生の女子生徒が職場体験に来てくれました。お風呂場の見学、食堂で患者様の食事エプロンの準備、誘導などを体験してもらいました。将来は助産師を目指しているとのこと。看護の道を志したエピソードなどを聞かせていただきました。ここでの体験が少しでも夢の後押しになったら嬉しいです。

